

健康への



シリーズ (110)

膵臓病 (I)

光町の皆さんこんにちは。今回は膵臓についてお話しします。膵臓はお腹の臓器の中では胃や腸の奥にあり、症状が出るまで時間がかかり、「沈黙の臓器」と呼ばれていましたが、消化に関係する外分泌機能に加えて、糖尿病に関連するインシュリン等を産生する重要な臓器です。

膵臓の細胞は外分泌腺として消化に関係するアミラーゼやリパーゼなどの消化酵素を産生し、分泌された膵液は膵臓の中心を通る主膵管に入り、途中で肝臓や胆嚢からの胆汁の道と合流して、十二指腸に出てきます。この途中で胆管と合流する構造のためにいろいろな病気が起こります。例えば、胆管に結石があるために膵臓からの膵液の排出が妨げられて急性膵炎が起こります。また胆管や十二指腸乳頭部の悪性腫瘍でも、膵液の排出障害を起こし、膵臓本体に悪い影響が出てきます。膵細胞は膵液の流れの悪い場合に壊れやすいのです。また、膵細胞はアルコールにも悪影響を受けやすく、一日3合以上のアルコールを連日摂取することにより、かなりの率で膵臓に障害がみられます。

膵臓の細胞に炎症を起こす原因としては胆石関連やアルコールが明らかですが、原因不明の場合もかなりあります。普段より膵臓に優しい食生活が望まれます。膵臓の消化酵素は脂肪を代謝することが主ですから、食事としては脂肪制限が重要です。また、食事間隔が不規則の場合に



東陽病院 副院長 伊藤 文憲

は膵臓に余裕が無く、徐々に機能が低下してきます。胆石関連、アルコール、原因不明により膵臓に影響があると急性膵炎が起こります。食後に上腹部に不快感や痛みが起こります。膵臓の位置により背部痛がみられることもあります。原因の除去により改善しますが、症状が続く場合には食欲は低下し、膵臓を保護するため絶食としてその代わりに点滴をする必要も起こります。稀に急性の重症膵炎となつていろいろな治療法を駆使しても全身臓器に影響が出て死亡することもありますので、油断できません。早期に治療を受けることが大切です。

急性膵炎が繰り返されると、慢性化することがあります。特にアルコールが原因の場合には禁酒や節酒ができなくて、お腹の痛みをとるためにまたアルコールを飲むことを繰り返して慢性膵炎が進行します。膵臓の中では炎症が繰り返されるために、線維化といって正常の細胞が壊れた後が硬い組織となり、機能の低下がみられます。肝硬変と同じように、膵臓が硬くなり機能低下による消化不良や下痢が起こり、栄養障害が進みます。膵臓の一部にはカルシウムが沈着し、膵石が形成され、ますます通過障害がひどくなります。このような慢性膵炎を基盤にして膵臓に悪性腫瘍が発生することもあり、慢性膵炎は膵癌の危険因子の一つです。次回は膵臓の悪性腫瘍についてお話しします。

※東陽病院の休日当番日
12月29日(日)・1月2日(木)・5日(日)・26日(日)
午前9時～午後5時
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎0413335

図書館においてよ 特別映画会

パニックアクション超大作 『アウトブレイク』



期 日 2月16日(日)
上映時間 午前10時、午後2時の2回上映
定 員 各回120名
入 場 整理券(無料)を1月18日(土)から図書館カウンターで配布します。

正体不明のウイルスが、全米をパニックに陥れた。全米破壊へのカウントダウンとともに、恐るべき謀略が明らかになっていく。
(主演 ダスティン・ホフマン)



ほんの

＝町立図書館＝
☎043311

特別整理期間のお知らせ 1月27日(月)～2月5日(水)

館内資料の整理点検作業のため、休館します。本を返却する場合は、返却ポストをご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

休館日

12月28日(土)～1月3日(金)、6日(月)、13日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)～2月5日(水)